

編集後記

「建物・環境」を特集した。私の幼児期の記憶から。登園すると保育室の奥が暗く見えた。園庭を横切って保育室へ向かう。母親からもうすぐ離れねばならないと思いつながら。入園する前はあこがれの的だったらせん状の滑り台は、通園するようになってから一人ぼっちを紛らす場所になった。園舎へ上がるときに靴を履き替えること。日本の建物文化が幼児に強いる、それは特別なハードルである。しかし「建物」の存在はじきに意識の底に沈み込む。幼稚園にだいぶ馴染んできたというしるしであろう。

大正末から昭和にかけての「家なき幼稚園」(橋詰良一)の試みは今も新しい。しかし、家(建物)に束縛されない保育とは、またそれも一つの枠をもつ。自然と生活の関係のいかに考えるかが難しい。(H)

幼児の教育 第107巻 第10号

平成20年10月1日発行
編集兼発行人 浜口順子
編集部 永山 綾
発行所 日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発売所 株式会社 フレーベル館
☎03-5395-6604 (編集)
振替 00190-2-19640
印刷所 図書印刷株式会社
定価 550円(本体524円)
©日本幼稚園協会 2008 Printed in Japan

表紙絵 佐藤奈々
扉カット 佐藤奈々
扉題字 津守 眞
カット 斎藤明子
編集委員 伊集院理子
上坂元絵里

ご購入のお問い合わせは、
フレーベル館までお願いします。
☎03-5395-6613 (営業)

次号予告

〈特集〉子どもと音

加藤富美子・角藤智津子・真砂秀朗・猶原和子

・新しく生きる 津守 眞・津守房江

☆次号の内容は都合により変更される場合があります。



ご意見・ご感想大募集

『幼児の教育』バックナンバーのネット公開始めました!

お茶の水女子大学附属図書館のHP上、教育・研究成果コレクション "TeaPot"
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>へアクセスしてご覧下さい。

明治34年発行の創刊号から発行後2年以上たったものまで、順次公開していく予定。ご意見・ご感想などは、youjimap@yahoocoo.jpまでお寄せください。